

令和6年（第69回）秋田県文化功労者

（年齢順、敬称略）

技 芸 （箏曲の指導・邦楽の発展） 村 田 敏 子

教 育 （社会教育の発展・指導） 吉 田 萬里子
民生・社会福祉

技 芸 （民謡の指導・発展） 千 葉 美 子

学 芸 （文化財保護の推進・向上） 池 田 吉 男

美術・工芸 （洋画の指導・美術の普及） 澁 谷 重 弘

文 芸 （俳句の普及・指導） 萩 原 都美子

産 業 （地域経済の振興） 三 浦 廣 巳



箏曲の指導・邦楽の発展

むら た とし こ
村 田 敏 子

(89歳)

住 所 秋田市

箏曲宮城会会員として全国主要都市で開催される全国大会に多く出演。平成12年度から22年度まで、中学校・高等学校・特別支援学校の音楽科教師を対象とした研修で箏の講師を11年間務めるなどした。

国民文化祭への出演は10回を超え、出演メンバーの中心として活躍。秋田県の邦楽界の地位向上と芸術文化活動の発展に大いに貢献してきたほか、後進の指導に尽力し、国内外で活躍する門下生を多数輩出している。



社会教育の発展・指導

よし だ ま り こ
吉 田 萬 里 子

(86歳)

住 所 男鹿市

秋田県警察婦人補導員としての経験を生かし、脇本婦人会に入会。脇本婦人会会長、男鹿市連合婦人会会長等を歴任し、地域の女性の地位向上、公民館活動を中心とした地域づくりに尽力。また、秋田県地域婦人団体連絡協議会副会長として会長を補佐しながら、全県の各地域婦人会同士の連絡協調、指導者の育成、秋田県地域婦人会大会・消費者問題研修会等の各種研修・セミナーの統括、北海道・東北ブロックや全国規模の研修大会等への参画に率先して取り組み、令和6年には同協議会会長に就任した。



民謡の指導・発展

ち ば よし こ
千 葉 美 子

(本名 いとう よしこ 伊藤 美子)

(84歳)

住 所 秋田市

永年にわたり、県内民謡全国大会と各種民謡大会の審査員や、県民謡協会が主催する研修会の講師を務める。また、秋田民舞団五星会の構成員として継続的に活動し、民謡王国秋田の礎を築くとともに秋田民謡の伝統の継承に尽力。秋田県文化の向上発展に貢献してきた。

秋田大学非常勤講師や赤十字芸能奉仕団を務めるなど社会貢献活動も行っている。



文化財保護の推進・向上

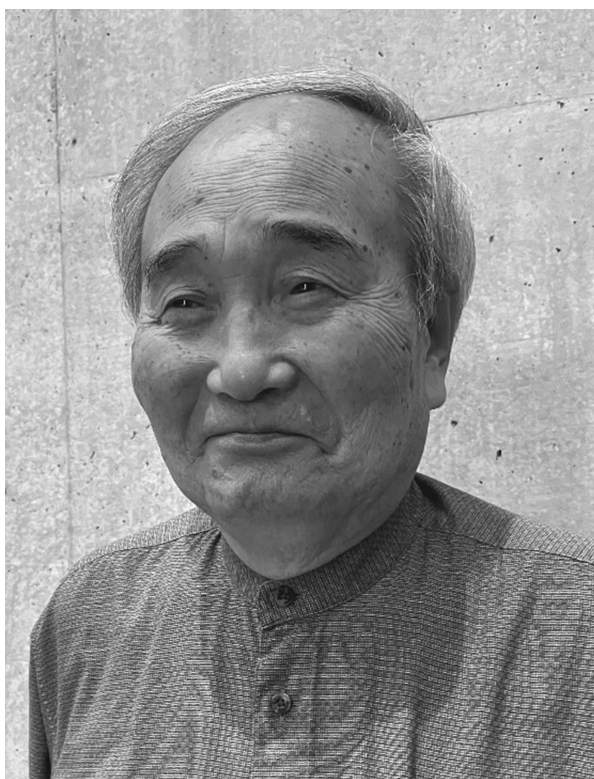
いけ だ よし お
池 田 吉 男

(82歳)

住 所 秋田市

銃砲刀剣類の専門家として、永年にわたり県銃砲刀剣類登録審査委員を務める。極めて高度な専門性が見識が必要で真贋を見極める力と高い倫理観が求められる審査において、池田氏の精確な審査に対する信頼は厚く、登録審査会では他の登録審査委員に対しても指導的役割を果たしている。また、警察からの捜査に係る鑑定依頼にも随時対応している。

平成27年に秋田市文化財保護審議会委員に就任。刀剣類や甲冑の文化財指定に向けた審議や保存活用のための指導にも尽力。また、秋田市立佐竹史料館での展示の監修にも携わり、令和2年からは佐竹史料館改築検討委員会委員を務めている。



洋画の指導・美術の普及

しぶ や しげ ひろ
澁 谷 重 弘

(78歳)

住 所 秋田市

永年にわたり秋田市立千秋美術館協議委員を務め、様々な展覧会の審査委員に携わる傍ら、大学に於いてはその豊富な知識と経験を学生達の指導に生かし、数多くの優秀な人材を育成した。

近年まで秋田県芸術選奨選考委員を務め、現在もなお秋田県美術展覧会専門委員を務めている。

平成30年秋田県立美術館館長に就任。美術館の管理運営に尽力するとともに、芸術性の高いものから多種多様なジャンルの企画を立て、広く県民が楽しめる様に配慮工夫を凝らすなど、児童から教育関係者に至るまで、その影響力は大きいものがある。



俳句の普及・指導

おぎ わら と み こ
萩 原 都 美 子
(本名 おぎわら とみこ 富子)
(74歳)

住 所 秋田市

昭和43年、俳句入門。以後、永年にわたって県内各地の俳句大会の講師や秋田魁新報社の俳壇選者を務める。

月刊俳誌「石路」を発行する傍ら、市民憲章推進協議会主催の児童生徒作品の俳句の選考にも携わってきた。

角川俳句叢書「日本の俳人100」の1人に選ばれ、令和6年1月には句集「至恩」を刊行した。



地域経済の振興

み うら ひろ き
三 浦 廣 巳

(73歳)

住 所 秋田市

平成2年、秋田日産自動車株式会社代表取締役社長に就任。秋田県自動車販売店協会会長としても業界の陣頭指揮をとり、自動車業界の発展と振興に努めた。

平成25年、秋田商工会議所会頭に就任。以後9年間、地域総合経済団体の長として、地域課題を深く認識し、将来を見据えた対策に着手するなど、商工会議所の社会的信用と地位向上に取り組む。

平成26年には秋田県総合政策審議会会長に就任。県政の指針となる、「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」の策定に力を発揮するなど、県政発展に大きく寄与した。

その他、ワールドゲームズの招致・運営に尽力したほか、平成18年4月から秋田県ラグビーフットボール協会会長に就任し、秋田県のラグビー競技発展にも尽力している。

令和6年秋田県文化功労者選考委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

委員長

秋田県商工会議所連合会会長 辻 良之

副委員長

秋田県教育委員会委員 大塚 和歌子

委員

秋田公立美術大学学長 北郷 悟

一般社団法人秋田県医師会会長 小泉 ひろみ

秋田県農業協同組合中央会会長 小松 忠彦

一般社団法人秋田県芸術文化協会会長 寺田 美恵子

株式会社秋田魁新報社 執行役員統合編集本部長 松川 敦志